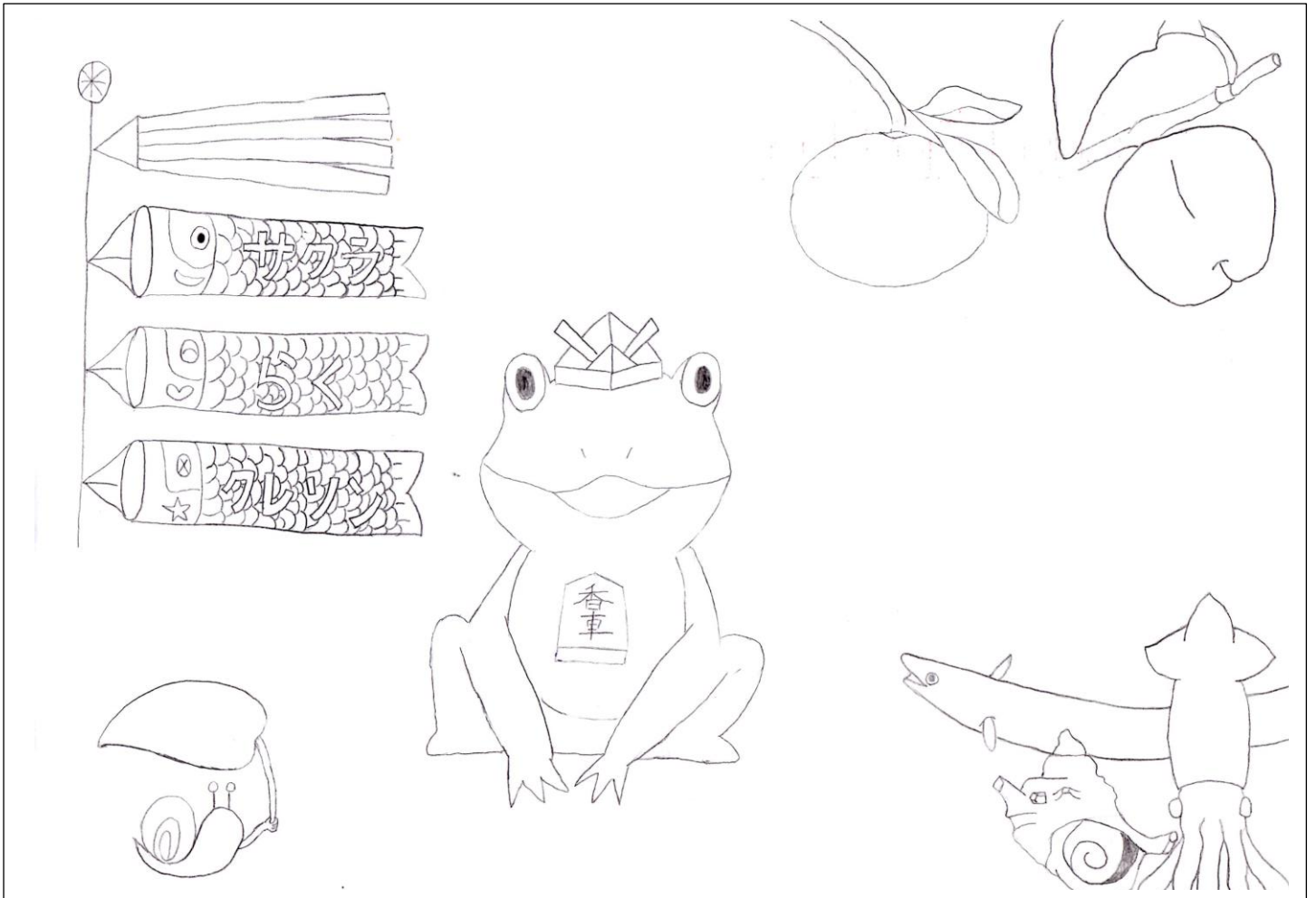


楽しく通信



【発行】

- スペース楽 小金井市東町 4-10-14 TEL : 042-388-6456
FAX : 042-316-3664
E-MAIL : space-raku@mx4.alpha-web.ne.jp
- スペース楽・2 小金井市本町 1-6-11 TEL/FAX : 042-388-7887
E-MAIL : 1997raku.2@jcom.zaq.ne.jp
- グループホーム こがねい・ちぐら TEL/FAX : 042-387-8468
- グループホーム らく TEL/FAX : 042-383-6181
- らく福祉会 公式ホームページ <http://rakufukushikai8.wixsite.com/koganeishi>



福祉会

《らく福祉会における人権を尊重するための取り組みについて》

より質の高い支援を目指して

らく福祉会ではここ数年、より良い支援に取り組むために必要なことの明文化や、利用者の皆さんの人権を大切にするための仕組みづくりに取り組んでまいりました。法人理念、職員倫理規程、職員行動指針の制定、第三者委員の導入、虐待防止規程の制定などです。

職員の支援のあり方について掲げているのが法人理念（理念）、職員倫理規程（倫理規程）、職員行動指針（行動指針）です。「理念」でらく福祉会が何を大切にしているかを示し、その理念を実現していくにあたり守るべき最低限のことを定めたものが「倫理規程」、具体的な行動のあり方について示したものが「行動指針」となります。

これらは、新しく何かに取り組むというよりは、今までも大切にしてきたことを改めて文書にしたという内容のものですが、もし支援の本質や方向性を見失いそうになってしまった時に「支援とは何か」を見直すための指標のようなものだと思います。

また、利用者の方々の人権を尊重するために、苦情対応規程を見直し、この4月より第三者委員の導入を行いました。第三者委員を導入することにより、苦情解決に社会性或客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進することができるようになります。この第三者委員は、一般社団法人そうごう 相談室 たいようの杉山さんにお引き受けいただきました。杉山さんは長年武蔵野中央病院でソーシャルワーカーをされ、現在は府中市で相談支援専門員としてご活躍されており、障害特性を熟知されている方ですので利用者の皆さんも安心してご相談していただければと思います（もちろん、苦情につながってしまうような支援を私たちがしないというのが一番大事なことです）。

さらに新たに4月より施行される規程があります。虐待防止規程です。総合支援法においては今年度から虐待防止についての具体的な対策がすべての事業所に努力義務化、来年度からは義務化されます。それだけ「障害者の人権」が尊重されることを国も重要視するようになったということなのだと思います。

虐待防止規程を作るにあたり、事務局では何をもって「虐待」と考えるかについて議論を重ねました。厚生労働省が明示している虐待の種類は明らかな暴力や暴言、経済的な虐待等で、私たちにとってそんなことは当たり前。虐待とはそれだけではないのではないか。利用者さんの意にそぐわない支援（支援者は良かれと思っている）を行うことが人権侵害という虐待に当たるのではないか、もっと精神障害の障害特性を意識したものを盛り込むべきではないのか。そういったことを時間をかけて話し合いました。

できあがった規程の字面だけを追うと、いわゆるひな形と大きな差はない虐待防止規程ではありますが、らく福祉会が利用者の方々への支援において、何を大切にすべきなのかを実はしっかりと検討した上で作った規程となっています。

コロナ禍でなかなか利用者さんの支援がスムーズにいかずにもどかしい思いをすることも多い昨今ではありますが、こういった規程や理念の意味を理解し、コロナに振り回されることなく、支援の本質とは何かを意識しながらより人権を尊重した支援に今後も職員一同、取り組んでいきたいと思っています。

（らく福祉会相談支援事業所／秋山）



コロナ禍のスペース楽

世界中に拡大した新型コロナウイルスのまん延はまだ収まる気配がありません。緊急事態宣言が発令されたり、解除されたり、また発令されたり。それでも、スペース楽は、雨にも負けず風にも負けず、コロナにも負けず、密を避けるために一度に集まる利用者さんの人数を調整し、製菓製造販売、内職、公園清掃、マンション清掃、公園トイレ清掃などを続けています。仕事量も次第に元の量に戻ってきたという感じでしょうか。

新たに内職の仕事をいただいている株式会社MNH様から大阪の百貨店の催事に向け、玄米コーヒーで特別にクッキーを作ってほしいという話をいただき、コラボ商品として、玄米デカフェクッキーを製造しました。それに加え、スポット作業として依頼された、いつもとは異なるパッケージのかりんとう包装作業や瓦せんべいの包装作業などの新しい作業にもチャレンジしました。

コロナ禍で通常の内職作業が減少している中、このように仕事をいただけることは大変ありがたいことだと思います。おかげさまで忙しい毎日を送れています。コロナの感染予防で少人数の作業なのでより忙しくなっているように感じます。皆さん、よく頑張っているなあと思います。

今年度はさらにマンション清掃先が1カ所新規で増え、全部で5カ所のマンション清掃を請け負うことになりました。

そんな折、日本善意銀行様からのご紹介で、サンパレス本八幡様よりお菓子の寄贈がありました。レク行事が開催できなかった中でのお菓子の寄贈はとてもうれしかったです。年度末に皆さんにお疲れ様を兼ねてお配りすることができました。レク行事、忘年会、新年会が開催できなかった中でのお菓子の寄贈はとて

喜ばれました。

また、従来のようなスペース楽・2との合同花見はできませんでしたが、少数でささやかながら花見散歩を企画しました。面談という形ではない、散歩しながらの会話はとても心地良かったです。普段とは違った話もたくさんできました。レク行事に行ける日はいつになるのでしょうか。今年は何か工夫をしたいところです。

全体ミーティング(月2回)もこの1年間、開催できていませんでした。今までは全体ミーティングの中で、作業のことや事業所内の過ごし方などのほかに、その時その時の議題を全体で話し合う機会となっていました。

まず今年度は全体ミーティングを復活させました。近くの友愛会館を借り、広いスペースで間隔を空けての開催です。今年度の事業計画などをお知らせし、皆さんのコロナ以前と以後の生活について希望者に話を聞きました。お出かけ先が制限されストレスが溜まっている人や、もともと家で過ごすことが多く私生活に変化がない人、マスクの着用が欠かせないというストレスを感じている人などがいました。スペース楽内でも利用時間のずれ違いで、顔を合わせる機会が少なくなった利用者さんもいます。そのため、「久しぶり～。どうしてた?」という声も。なかなか皆さんが集まる機会が少ないので、ぜひまた開催してほしいという声が上がっています。

さて、今年度はどのような1年になりますでしょうか。まだまだコロナ禍は続くでしょう。引き続き感染症対策を継続しつつ、皆さんの来所と作業の機会を増やしていき、合わせて新規の利用者の受け入れ態勢も整えていきたいと思っています。

(スペース楽/山根)

プログラム「畑作業」―「畑ツアー」始めました

昨年4月にらく福社会スペース楽・2に入職し、ようやく1年が経ちました。今回は、私が担当しているプログラムの畑作業について報告します。

畑は小金井市内の栗山公園の近くにあつて、100平方メートルほどの広さです。毎週木曜日の午前中に行き、ボランティアの方にも来ていただいて、一緒に畑作業をしています。

畑作業のプログラムは15年以上前から行っており、参加していた何人もの方が就労に対して意欲的になり、就労支援を行っている就労継続支援B型や就労移行支援の事業所に移りました。また、ボランティアの方とおしゃべりするのを楽しみにしている利用者さんもいました。このように、畑作業のプログラムは利用者さんにとってとても有用なものだと思います。

ただ、残念ながら、最近ではコロナの影響で一緒に畑に行く利用者さんが少なくなりました。そこで、もっと利用者さんが参加しやすいプログラムにするために、月に一度、「畑ツアー」と称して希望者を募って一緒に畑に行くレクリエーションを実施することになりました。「畑ツアー」の内容は主に収穫です。参加者には好きな野菜を好きなだけ収穫して楽しんでもらえたらうれしいです。

私自身、土に種をまいて水と肥料をあげていれば立派な野菜ができると思っていただけ農業の知識も経験もありませんでしたが、畑作業に参加するようになってから多くのことを学んでいます。

たとえば、去年の夏、トウモロコシを初めて種から育てたのですが、散々たる結果でした。背も伸びず、茎も太くならず、台風や風の強い日は茎が折れたり曲がってしまったり。急いで添え木をして補強をするなど手を尽くしまし

たが、実（み）はほとんどできませんでした。

なぜうまく育たなかったのかを調べると、考えられる原因はいくつもあり、ひとつは暑さでした。去年は記録的な猛暑日が続いた上に雨が少なく、トウモロコシにとってかなり厳しい状況でした。それなのにスーパーにはとても大きくて立派なトウモロコシが並んでいて、当然ではありますがプロの農家と素人の違いの大きさを目の当たりにしました。

このようにわからないことばかりで大変なことも多く、野菜作りは難しいです。しかし、だからこそやりがいを感じたり、うまく育てくれた野菜を見てうれしくなったり、この野菜はこんなふうの実をつけるのかという発見があったり、蝶やトンボなどの昆虫が畑に来てくれて四季を感じることもできたり。これまでの生活にはなかったことを経験することができて、とても楽しくやらせてもらっています。

そんな楽しさや発見を、利用者さんにもぜひ味わってもらいたいと思います。収穫で少しでも畑に興味をもってもらって、できれば育てることにも関わって、さまざまな発見や感動を得てもらえたらうれしいです。

皆さんに、畑が身近で楽しくて、また行きたいと思ってもらえるような場所となるように、今後も考えていきます。ぜひ多くの方に参加してほしいと願っています。

(スペース楽・2/吉川)

《グループホーム活動報告》

コロナ禍のグループホーム

コロナのことを踏まえて1年を振り返ると、人との触れ合いが減った生活をする中で、寂しい気持ちが強くなったり、調子を崩される方が例年に比べ多いように感じました。

感染予防のため、グループホームの行事はすべて中止、夕食会は弁当配布に切り替え、利用者間での交流がないので、コロナが出始める前よりも一人暮らしに近い形での生活になったと思います。

卒業前の物件探しも、コロナの影響が出ています。不動産屋さんによれば、人の移動がないため例年に比べて空室が少なく紹介できる部屋がない、と悩ましい状況です。

夕食会ができない中で個別の支援をしています。コロナに伴う生活の変化の受け止め方はそれぞれです。利用者さんに感想を聞いたところ、「マスクでの生活が、慣れたけどつらい」「リモートでの活動が増えたのがうれしい」「コロナの前のような生活にまた戻ってほしい」「仕事の求人の量が減っているので大変」「夕食会が苦手なので、弁当の配布になりホッとしている」「意外と近くで出るものだな」「緊急事態宣言の時、生活リズムが崩れてしまうなと思った」…と、さまざまな回答がありました。

毎日の検温や健康状態の確認、消毒やマスクをしての外出の習慣など、負担に感じながらも利用者さんが各自でしっかり対応してくださり、ありがたかったです。

状況によって「ルール」がころころ変わる中で、私たち職員も慎重になりますが、利用者の方々の人権をこれまで以上に意識しながらの支援となるよう、日々心がけています。

(グループホームこがねい／内田)

《らく福祉会相談支援事業所・活動報告》

おかげ様で1周年を迎えることができました

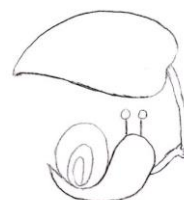
昨年1月1日にらく福祉会相談支援事業所は開所しました。開所直後は、計画相談業務に取り組む時間よりも、関係機関にご挨拶に伺うことのほうが多い日々でした。そんな中、新型コロナウイルスというものが世の中で騒がれるようになり、気が付いたら緊急事態宣言。

相談支援事業所も在宅勤務を取り入れたり、新規の方の受け入れをストップしたりという時期がありましたが、徐々に通常ペースに戻り、特定相談(いわゆる計画相談)については、6月ごろにはほぼ通常業務に戻りました。ただ、一般相談(地域移行)については医療機関への出入りが難しかったこともあり、取り組むことができない1年間となりました。

開所の年がイレギュラーなことの多い1年となりましたが、それでも地域で生活されている精神障害者の方々のニーズに触れること、地域の課題を感じることができた1年にもなりました。

今後もコロナ禍で私たち支援者も戸惑うこと、不安になることも多いと思いますが、こういう世の中でも、当たり前で自分で選び、自分で決めながら地域の中で生きていくという力を利用者の方々につけていただけるような支援にしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

(らく福祉会相談支援事業所／秋山)



《私の音楽歴》

私は 15、16 歳になって兄が買ってくる色々なレコードを聴くようになりました。サラ・ヴァーン、ナンシー・ウィルソン、ヴィック・ダモン、トニー・ベネット、フランク・シナトラ、ヴィッキー・カー、サミー・デイヴィス・ジュニア。一番のお気に入り、サミーでした。ミスター・エンターテインメントといわれる彼の歌をよく聴いていました。彼の声のもつ力強さと、その中にあふれる悲しみにひかれていたのだと思います。

21 歳のときにサミーの来日公演があり、帝国劇場に兄と 2 人で観に行きました。私の好きな曲は、「What Kind Of Fool Am I (ホワット・カインド・オブ・フール・アム・アイ)」「I' ve Gotta Be Me (アイヴ・ガッタ・ビー・ミー)」「Once In A Lifetime (ワンス・イン・ア・ライフタイム)」。このうち「What Kind~」と「Once In A~」の 2 曲は、イギリス人の作詞、作曲、歌もこなす才人アンソニー・ニューリーがサミーのために作った歌です。

その公演のとき、サミーの奥さんもステージに登場して、私はサミーと結婚するのが夢だったので、とてもがっかりしました。彼の歌で特にすごいのは、「Mr. Bojangles (ミスター・ボージャングルズ)」という歌で、踊れなくなったボージャングルズという男の悲しい物語です。でも、私はサミーとボージャングルズのイメージが重なってあまり好きではありませんでした。

テレビでシナトラがサミーを称える番組に出たときのこと。「Where or When (いつかどこかで)」という歌を、喉の癌で歌えなくなっていた客席のサミーに向かって、君にもう一度会いたいという歌詞を「ワンス」ではなく、「トゥワイズ」に変えて歌っていました。サミーを兄弟のように、心から愛しているということがよく伝わってきました。その映像は今でもはっきり

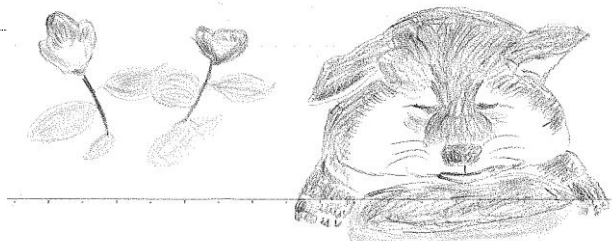
覚えています。その後、西城秀樹にはまりますが、長くなりますのでこのへんで。

(とみーちゃん)



2020年度 活動報告 スペース楽 スペース楽・2
グループホームこがねいらく・ちぐら・ちぐら2・相談支援事業所

4月	1. 梶野公園トイレ清掃作業開始（新規委託作業）（楽） 21. 実地調査（書類提出のみ）（楽）
6月	19. 防災訓練（楽・2）
7月	1. 公園清掃作業開始（楽） 3. 顧問医面接（GH） 8. 入居検討会議（GH） 8.～10. 製作品展示会-カエルハウス（楽・2） 15. 防災訓練 災害時伝言ダイヤル体験（GH）
8月	12～17 非常持ち出し袋中身点検（GH）
9月	14～10/22 除草作業実施（新規請負作業）（楽） 25.30 顧問医面接（GH） 28～10/2 避難場所確認新入居者（GH）
10月	1. 入居検討会議（GH） 14.～16. 製作品展示会-カエルハウス（楽・2） 15. 防災訓練 災害時伝言ダイヤル体験（楽）
11月	13. 防災訓練（楽・2） 26. 障害者週間庁内販売（楽、楽・2） 30. 障害者週間 nonowa 商工会ギャラリー販売（楽・2）
12月	1. 障害者週間 nonowa 商工会ギャラリー販売（楽） 2.～4 展示会-カエルハウス（楽・2） 16. 顧問医面接（GH） 23. 入居等検討会議（GH） 28. 大掃除（楽・2）
1月	4. 新年会（楽・2）
2月	24日より15日間 日本福祉教育専門学校実習生受け入れ（楽）
3月	16. 東図書館飾り付け納品（楽・2） 29. 防災訓練 一時避難場所避難訓練（楽） 30. 花見（楽）



編集後記

今号の「私の音楽歴」と題されたその原稿は、利用者さんをお願いしたものです。これからもいろんな方に「私の〇〇」というお題で投稿してもらおうのは、面白いのではないかとひらめいたのでありました。また音楽を記事にするのは良いですね。いろんな方の音楽との出会いを知りたいものです。そういえば、音楽に「楽」の字がありますね。らく福祉会の「らく」でもあります。楽をする。楽しいことをするとは、怠惰な印象があったり、遊びを連想したりしがちですが、最近読んだ本に「楽なことは無理をしていないということ。無理をしていないということは、体にも良い。楽しいことはやる気になる」といったことが書かれていて、「楽」という言葉について考えさせられました。今まで以上に「楽」の字が好きになり、その字を冠する施設で働いている自分を少し誇らしく思ったのでした。（山根）



編集委員

伊東(グループホームらく)
江本 (スペース楽・2)
山根 (スペース楽)

ご支援ご協力

—2020年4月1日～2021年3月31日—

みなさまからご寄付ならびに様々なご協力を賜りました。ありがとうございました。

『寄付・寄贈・助成』 寄付金ならびに製作品、リサイクル品、ご招待など。(順不同・敬称略)

渡辺恵利夫／伊藤万里子／三吉博子／ろばや／中村淑子／藤川トシ子／宮本祐子／プーの森／浅賀福代／訪問看護ステーション風／藤村忍／北条孝／渡辺さか江／奥村明史／七洋商会／西ノ内多恵／東京しごと財団事業継続緊急対策助成金(テレワーク機器購入補助)／赤い羽根共同募金(空気清浄機購入補助)／ほか匿名のみなさま

『らく福社会賛助会員』(順不同・敬称略)

堤直規／カフェにじ／馬場利明／板倉真也／吉田猛／藤川トシ子／中嶋康子／岩井通子／渡邊さかえ／奥村明史／さいとう医院／末盛三枝子／七洋商会／槌田春美／西ノ内多恵／森田史雄／北條孝／渡辺ふき子

『スペシャルサンクス』(順不同・敬称略)

作業所製品の販売や事業委託等を通し、「利用者の仕事」にご協力頂いた皆様です。
土井昇吾商店／株式会社千代田商事／株式会社 MNH／株式会社風水プロジェクト(グルッペみたか)／カフェローカル／JA東京むさし小金井ファーマーズ・マーケット／高橋金一／マダムブロッコリー株式会社 SOMETHING NEW(コガネイチーズケーキ)／オフィスセブンス・ノート／カエルハウス実行委員会／株式会社円グループ／地域の寄合所また明日／本州管理株式会社 聖ヨハネホーム／日本福祉教育専門学校／小金井市役所／ウエスト／小嶋工務店／石黒工務店 武蔵野中央病院／HARMONY GREEN WORK

～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～

『スペース楽開所 25 周年誌』発行のお知らせ

2020 年はスペース楽が開所してから 25 周年でした。新型コロナの中、イベント等は控え、資料集のような記念誌を 26 年目になる 2021 年、1 月 21 日(1995 年にスペース楽が仮開所した日)に発行しました。古い資料を発掘して『楽らく通信』の初期のものを復元したり、つどいの会の会報を整理したりして作成しました。懐かしい記事が満載です。

スペース楽・2 展示会のお知らせ

6 月 30 日(水)、7 月 1 日(木)、2 日(金)、織物・手芸品の展示販売を行います。コロナ禍ではありますが、感染防止に努めてお待ちしております。どうぞお気をつけてお越しください。

場所：カエルハウス 小金井市中町 4-17-11 ムーちゃん広場そば

～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～*。～

らく福社会賛助会員

らく福社会賛助会員のみなさまには、温かいご支援ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

今後とも、ご支援のほどよろしくお願い致します。

らく福社会賛助会員 年会費 一口 2,000 円

郵便振替 口座番号：00160-5-171403

加入者名：らく福社会

らく福社会 公式ホームページ



らく福社会

検索

日々、ブログや情報を更新しています。是非ご覧ください。

